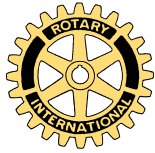


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフレッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 橋本 恭典
幹事 鈴木 文三郎
会報委員長 酒部 正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2592回例会プログラム

[当年度=34回目；当月=2週目]

2008年（平成20年）5月12日（月）

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……我等の生業
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. 刈谷市中央図書館へロータリー文庫贈呈
…館長 清水 多津子 様
10. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
11. 幹事報告
12. 出席報告
13. 委員会報告
14. ニコニコボックス報告
15. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(5/19)……クラブフォーラム(IT委員会)
卓話「放送とIT」
講師 愛知国際放送株式会社
営業部長 倉地 雅彦 様
(紹介者 神野 公秀 会員)
(5/26)……クラブフォーラム
(環境保全委員会)
講師 愛知県地球温暖化防止活動
推進センター
事務局次長 北折 洋太郎 様
(紹介者 杉浦 芳一 会員)

2. クラブフォーラム……………〈社会奉仕委員会〉

- 13:00 卓話 「刈谷城と城下町刈谷」
講師 刈谷市教育委員会文化振興課
村瀬 ^{のりあき} 典章 様
(紹介者 嶋津 孝久 会員)

16. 謝辞
17. 点鐘……〈会長〉
18. 閉会宣言

13:30 19. 散会

ビ ジ タ ー

加藤 量平 様 (知立 RC)
鈴木 民也 様 (知立 RC)

ゲ ス ト

刈谷市中央図書館 館長 清水 多津子 様

出 席

会員総数 93名 出席免除 20名
出席義務者+免除者の内例会出席者 89名
欠席 6名 出席率 93.26%
前々回(4/14)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) ロータリー米山記念奨学会より、加藤真治会員に第9回マルチプル米山功労者、杉浦世志朗会員に米山功労者の感謝状が届きましたのでご披露させていただきます。
2) ロータリー米山奨学会より市川裕大会員に、インドネシアからの奨学生スリ・クンチョロ君のカウンセラー委嘱状が届きましたのでお渡しします。
3) 昨日西尾ロータリークラブ創立50周年記念式典が開催され、鈴木幹事と共に出席して参りました。ハドソン研究所の日高義樹さんのご講演で、石油が200ドルにはなるとか、大統領には共和党のマケインさんだろとか、興味深いお話を頂戴しました。



刈谷市中央図書館へロータリー文庫贈呈

幹事報告

- 1) 5月のロータリーレートは、1ドル=102円と本部より連絡がありましたのでお知らせいたします。
- 2) 刈谷市国際交流協会理事の委嘱状が会長宛てに届いていますのでお知らせいたします。
- 3) 霜出倶弘会員が旭川西ロータリークラブでメーキャップされ、バナー交換をして来て頂きましたので、披露いたします。

委員会報告

●環境保全委員会

- 1) 刈谷市緑化推進協議会より春の緑化強調期間の募金運動協力の要請がありましたのでよろしくお願い申し上げます。

会長あいさつ

橋本 恭典



ミャンマーのサイクロンでは、定かではありませんが、数万人に上る死者と100万人以上の被災者が出ていることに、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。軍事政権下、外国人の入国に難色を示しており、支援がままならないような報道がありますが、早く支援を受け入れるように願っております。

国民の多数に支持されていない政権が、体制を保つため、被災者支援をおろそかにしているような報道もあります。

このような政権を見ておりますと、私はどうしてもロシアと対比してしまいます。

ロシアではメドベージェフ大統領が就任し、プーチン氏は首相となり、併せて与党統一ロシアの党首にもなって、絶大な権限のある大統領に対しても大きな影響力を持っております。というよりもプーチン傀儡政権の誕生と言ってもいいでしょう。4年後には大統領に復帰するという声は、世界のどの国よりもロシアで大きいのです。ミャンマー軍事政権との違いは、そのことが多数の国民に支持されているということです。

と、言いますのは、ソ連崩壊後、貧しい生活を強いら

れていた国民生活が、プーチン大統領時代に、石油や天然ガスの値上がりによってロシア経済は飛躍的に伸び、市民の生活もそれなりに潤ってきたからに他なりません。元KGBで、エリツィン時代の石油会社のトップをシベリア送りにし、石油会社そのものを国営化したり、重要な政敵を強引に排除したりしていることを国民はよく分かっておりますが、それよりも強いリーダーシップをもって、たとえ独裁でもロシアが大国に復帰し、自分たちの生活が楽になれば多少は目をつぶろうという傾向が強いなと私は感じております。

天然資源をバックに成長してきたプーチン政権は、私どもの顧客先である日本の合板産業や製材業がこれまで購入していたロシア材針葉樹丸太の輸出税を、去年の7月に6.5%だったものを20%に引き上げ、さらに来年1月からは、なんと80%の輸出税にする決定がされております。つい最近まではできるわけがないと高を括っていた日露の木材関係者も、先月極東ロシアでの会合で州政府の意見が通らず、中央政府から来年1月から実施する旨の通知があり、輸出税80%が現実のものとなってしまうようになりました。ロシア中央政府は石油・天然ガスを始め、木材も資源としての外交手段に利用してきております。

これまで、日本の合板工場は、世界中からの丸太が利用できるように主要港の近辺に工場が立地しておりました。しかしロシアは関税で高くなり、ニュージーランドとかチリからのものはフレートが高くなりすぎ、輸入するうまみが無くなってきました。そこで日本の最大手メーカーが、岐阜県の中津川に国産材専門工場を造る事になりました。内陸部に合板工場が建設されるのは、北海道を除いて初めてのことで、港から遠く立地しているため、外国からの丸太では輸送費の面で採算に乗らず、必ず地域の木材を利用して合板を製造しなければなりません。中津川のある東濃地域はヒノキの産地で、またカラマツの多い長野県とも接しています。杉は主に美濃地方が中心となりますが、合板用の丸太はいわゆるB級材(製材には不向きな2mの長さで15cm位の太さのもの)、要は間伐材でいい訳です。間伐して山に捨てている木をうまく集荷して利用しようとするものです。岐阜県では年間の丸太生産量は32万立方m、この会社の消費量は10万立方mでこれ以下の量では採算が合いません。

ロシアの輸出税大幅切り上げにより、今後このような小規模工場が、山の中にあちこちできて、日本の森林育成、治山治水につながれば幸いです。

お祝い

5月の会員の誕生日…鬼頭勝彦、太田宗一郎、横山宜幸、久米博明、南健会員。

配偶者の誕生日…加藤ひろ(英二)、伊藤佳代子(節夫)様。

5月度結婚記念日…鈴木孝平、神谷光義、加藤英二、杉山欣輝、神谷龍司、近藤俊行、鈴木豊、長江正博、吉原孝彦、野村紀代彦、今野博樹会員。

クラブフォーラム

卓 話

「刈谷城と城下町刈谷」

刈谷市教育委員会文化振興課学芸員 村瀬 典章 様



刈谷市教育委員会の村瀬です。本日はお招き頂きありがとうございます。立派な方々の前でお話するというので緊張しておりますが、よろしくお願いたします。

刈谷城は、文明8（1476）年頃に知多郡緒川の城主、水野貞守が刈谷に進出し、元刈谷の地に築城したと言われていいます。その後、狭くなったということで、天文2（1533）年に現在の亀城公園の場所に新しい城を築きました。従来、この築城は水野忠政によるものとされてきましたが、研究によって忠政とは確定できないということで、現在は水野氏の築城とされています。

慶長5（1600）年に水野勝成は初代刈谷藩主となり、以後、刈谷城は水野家分家、深溝松平、久松松平、稲垣、本多、三浦、土井の譜代大名が支配することとなりました。藩高としては本多氏の時代に5万石と最大となりますが、江戸時代中期以降は、2万3千石で固定されます。

刈谷城は、永禄3（1560）年の桶狭間の戦いの後、今川の残党兵によって焼かれたと言われますが、天守閣の存在を含め、その当時の城の形態や焼失状況について詳しいことは判っていません。明治4（1871）年には刈谷城内の八丁枡形、番所、土堀等の建造物が取り払われ、旧刈谷藩の武器その他諸道具が売り払われました。明治6（1873）年に各所が入札にかけられ、翌年には落札者が決定。この時点で建造物は無くなっており、何がどのような状況だったのか判らなくなっています。

ただし、江戸時代の刈谷城がどういう状況だったのか、全国各地に散在する30数点の城絵図を調査することで、新たな事も解明できています。その一つに、江戸時代前期では本丸の北西と南東の隅に2層の隅櫓がありましたが、後期には無くなっている事が挙げられます。

城下町については本町・肴町・中町・末町などの各町、そして札の辻や寺、城郭については町口門・大手門・居所・堀・月見櫓・二の丸・本丸などの跡を、城絵図と照らし合わせることで知ることができます。

現在の刈谷市は、この城下町の形成・発展が基となっていますが、旧城下町周辺では、開発等によって昔が偲ばれる姿が消えつつあります。



刈谷城絵図（1710～1712年頃）

次年度理事・役員・委員長会議

- I 次年度会長挨拶 〈会 長〉
- II 議 題
 - 1. RI 会長方針について 〈報告……会 長〉
 - 2. ガバナー方針について 〈報告……会 長〉
 - 3. 会長方針について 〈会 長〉
 - 4. 組織図（案）について 〈幹 事〉
 - 5. 事業計画（案）について 〈幹 事〉
 - 6. 一般会計予算（案）について 〈幹 事〉
 - 7. 第1回理事役員委員長会議開催について〈幹 事〉
（7月7日～8日） 〈幹 事〉
 - 8. その他 〈幹 事〉
 - ・活動計画提出について